

H18年度 情報科学研究科特待生 プロジェクト・海外研修先一覧		特待生プロジェクト			海外研修	
氏名	チュータ	プロジェクト名称	概要	備考	研修先	期間
(M2特待生)						
新井 美紗子	黒川 顕 助教授	若手研究者交流プロジェクト	様々な分野の研究者との交流を通して、他分野研究との相互理解や融合領域研究の促進を目的に活動を行う。 1. サイエンスオリンピックの開催 2. 学外の研究会、勉強会、学会への参加 3. 海外の大学訪問	サイエンスオリンピックは山倉さんと共同。主に、広報・会計関係の仕事を担当。	Baltimore, MD & Princeton, NJ, USA	2006/10/27- 2006/11/6
有木 由香	井上美智子助教授 上田悦子 助手 和泉順子 助手	女子学生、女性研究者交流プロジェクト	NAISTの女子学生、女性研究者のための交流プロジェクト。女子学生がもつ、生活や、進路の上での不安や悩みを解消することを目的とする。様々な職種OGを招いての企画を行う予定。		International Conference on Humanoid Robots, Genoa, Italy	2006/12/3- 2006/12/7
井原 瑞希	大羽成征 助手	Language Exchange Program [Simply Speaking -えいごしゃべろうかい-]	日本人学生は英語、留学生は日本語において対象言語を使うことに慣れ、表現やコミュニケーションの能力向上を図るために、英語・日本語の授業以外で会話の機会や研究に関して議論する機会を作る。	井原・中本・上野山共同プロジェクト アドバイザー: 関先生、大羽先生 (Hamidさん)		未定
上野山 雅史	中村文一 助手	Simply Speaking -えいごしゃべろうかい-	日本人学生は英語、留学生は日本語において、対象言語を使うことに慣れ、表現やコミュニケーションの能力向上を図るために、英語・日本語の授業以外で会話の機会や研究に関して議論する機会を作る。	井原瑞希さん、中本レンさんと共同で進めます。私はプロジェクトの運営がうまくいくように、アドバイスなどサポートする立場で参加します。URL: http://db-www.naist.jp/~reyn-n/lep/	米サンディエゴ国際学会PLANS (Position Location and Navigation Symposium) 2006での発表	2006/4/23- 2006/4/29
河合 紀彦	神原誠之 助手	学研北生駒駅案内ロボット「イコちゃん」のデモンストレーションとイベントへの参加	駅案内ロボット「イコちゃん」のデモンストレーションを学研北生駒駅で行い、一般の人との触れ合いを持つ。また、ロボットを用いたイベントに参加し、駅案内ロボットと奈良先端大の知名度向上を目指す。	駅案内ロボットの取材に関するNHKのホームページ: http://www.nhk.or.jp/radior/80chan/06/nara.html	International Conference on Pattern Recognition (香港)	2006/8/20- 2006/8/25
小町 守	浅原正幸 助手	オープンソース開発者支援プロジェクト	昨年度のプロジェクトの継続としてオープンソース開発者としての活動を継続する。今年度は機械翻訳ツールの開発に着手し、作成中のシステムで機械翻訳のコンテストに参加した。開発中の機械翻訳ツールは来年度の公開を目指す。		COLING/ACL and University of Technology, Sydney	2006/7/16- 2006/7/23

杉江 京	上田悦子 助手	駅構内案内ロボットの開発	前年度開発した駅構内案内ロボットを使用し、人間の生活空間で活躍する為に必要な技術の研究・実装を行い、より人の役に立つロボットの開発を目的とする。	前年度を継続	Int. Conf. on Multisensor Fusion and Integration for Intelligent Systems, Bielefeld University and Karlsruhe University, Germany	2006/8/31-2006/9/10
山倉 健	黒川顕 助教授	サイエンスオリンピック	専門領域を横断して形成された各チームが、チーム内の幅広い知識を活かしてアイデアを創出することを目的としたイベントの企画・準備など。	僕のプロジェクトを、手伝っていただいている特待生の名前を報告します。新井さん、中村さん、前田さん、井原さん です。サイエンスオリンピック HP: http://kanaya.naist.jp/~skanaya/SO/		2007/3予定
(M1特待生)						
青山 瑠美	楫勇一 助教授	情報科学研究科案内システム作成プロジェクト	情報科学研究科棟 1F 玄関ロビー設置のタッチパネルディスプレイの研究科棟内の案内システムの改善を行う。複数人が参加するプロジェクトを通して、実装技能及びマネジメント能力、デザイン能力などの向上を目指す。	青山、小松崎、佐藤、田中の共同プロジェクト	GLOBECOM2006の講聴参加。アメリカ合衆国カリフォルニア州サンフランシスコ	2006/11/26-2006/12/2
浅野 卓也	作村愉一 助教授	NAIST ART FESTIVAL	「科学と芸術」をテーマとした芸術祭を開催する。NAISTが国内有数の研究機関であるという特色を活かし、芸術と融合させる。それを踏まえた上で、既存のものにとられないアートを創出し、公表する。	協力者:河合さん、山倉さん、小町さん、新井さん、有木さん、中村さん、その他NAISTの学生の方々 http://esp-is.naist.jp/art/	Cold Spring Harbor Laboratory	2006/11/30-2006/12/7
木村 聡	河合栄治 特任助教授	地域交流プロジェクト および似顔絵作成ソフトの制作	NAISTの地域交流の活性化および科学教育振興のため、奈良県立の高校などに出かけて情報科学のセミナーを開催する。また、写真から親しみやすい似顔絵を作るソフトを作成する。	(活動報告書副編集長) 高校訪問では山倉さんにも手伝っていただいています	オランダ・フィリップス(情報コミュニケーション講座共同研究先)	2006/11/6-2006/11/19
小松崎 洋輔	斉藤将人 助手	情報科学研究科案内システム作成プロジェクト	情報科学研究科棟 1F 玄関ロビー設置のタッチパネルディスプレイの研究科棟内の案内システムの改善を行う。複数人が参加するプロジェクトを通して、実装技能及びマネジメント能力、デザイン能力などの向上を目指す。	青山、小松崎、佐藤、田中の共同プロジェクト	GLOBECOM 2006 (アメリカ・サンフランシスコ)	2006/11/27-2006/12/1

佐藤 貴彦	和泉順子 助手	WEBにおけるNAISTの活性化 (情報科学研究科案内システム 作成プロジェクト)	昨年はWEB2.0という言葉が流行ったように、今日の情報社会においてWEBの重要性がますます認識されてきた。そこで本プロジェクトでは、本来企業色の強いWEBマーケティングを、アカデミックな観点からNAISTで実践することを考える。まずはSEOやSEMなどといったWEBマーケティング手法を学び、それをWEBページを中心に実践していく。また他の特待生活動についてWEBの方面からサポートを行いたいと思う。	学内専用ページ： http://esp-is.naist.jp/	アメリカ、カリフォルニア州、サンフランシスコ、IEEE GLOBECOM2006 EXPO	2006/11/26- 2006/12/1
田中 秀一郎	大平雅雄 助手	NAISTイノベーション活性化プロジェクト (情報科学研究科案内システム 作成プロジェクト)	ビジネスプランコンペに応募することで、NAISTの知名度向上とベンチャー企業やベンチャーキャピタルとのネットワーク構築する。そして、ベンチャービジネスに興味のある学生が集まり情報交換や交流を行うコミュニティを形成する。学生のベンチャー精神育成とイノベーションの活性化を目指す。	http://adsv01.naist.jp/kenkyou/kenkyo/cast/_nin/index.html	シカゴで行われた International Conference on Web Servicesに参加した	2006/9/17- 2006/9/22
中本 レン	大羽成征 助手 (Hamid LAGA氏： 10月より東工大助手転出)	Language Exchange Program [Simply Speaking -えいごしゃ べろうかい-]	Simply Speaking is a unique language exchange program which encourages the exchanging of languages between Japanese and foreigners. Japanese and foreigners are paired with each other, providing foreigners with the opportunity to practice Japanese and providing the Japanese with the opportunity to practice their English in a comfortable, personal setting. It is a unique chance to let loose and learn by actively using a language.	井原・中本・上野山共同プロジェクト アドバイザー：関先生、大羽先生 (Hamidさん)		2007/3予定
隼野 恵理	安室喜弘 助手	ステレオシネマの両眼視差の圧縮	情報科学研究科が提携しているベルギーのUniversite catholique de Louvainに3ヶ月にインターンシップ生として滞在し、そこで課題を行う。 課題は、立体映画に使用されるステレオ画像をネットワークで送信するにはデータが大きすぎるため、ステレオ画像の差分を用いて送信するデータを小さくし、データの受け取り元で画像を再構成するというものである。		SIGGRAPH2006 (アメリカ、ボストン)	2006/7/29- 2006/8/7
前田 くれあ	大羽成征 助手	NAIST子育て支援project	”子育て経験のないおせっかいな学生”主体による、子育て支援projectです。 目的としては、 * NAIST構成員に対する子育てへの理解を深める * その過程で子育てに関する要望があればそれを大学に提案すること をメインに活動しています。	http://hawaii.naist.jp/~kurea-m/hpdata/index.html 応用システム科学講座 中村さん(特待生OB:アドバイザー)、データベース学講座 吉井さん(Webページ担当)、計算神経科学講座 坂本さん(アドバイザー)がお手伝いしてくださっています。	SfN (Society for Neuroscience) アメリカ ジョージア州 アトランタ	2006/10/14~ 2006/10/18
山口 明彦	上田悦子 助手	ヒューマノイドは跳躍を如何に実現するか---人間とロボットが共有できるスキルの表現を求めて---	ヒューマノイドのような多自由度ロボットが跳躍や宙返りと言った動作を実現するスキルの解明を目指し、研究する。このようなスキルの表現は、ヒューマノイドのように人間に近い身体性を持つロボットの場合、知識として共有できる可能性が高い。本研究では人間とロボットが共有できるスキル表現を提案し、運動学習によってこれをロボットに獲得させる。	(活動報告書編集長)	アメリカ・スタンフォード大学、マサチューセッツ工科大学	2006/9/25~ 2006/10/1

吉田 岳彦	湊小太郎 教授	NAISTの神経経済学の拠点的活動	関西、特にNAISTを中心として神経経済学を広めるべく、またNAISTをアピールするための機会として、神経経済学研究会を開催する。主にNAIST、阪大、京大、京都府立医科大の有志があつまる。開催場所としてNAISTを使う。		Society of Neuroeconomics Annual Meeting, Park City, USA CALTEC, Pasadena, USA	2006/9/7- 2006/9/14
(特待生OB 現D1)						
ユー トーマス エ ディソン チュア	米田友和 助手 (2006/10 博士後 期進学)	海外からの大学生招待	去年のプロジェクトを引き続いて、今年度は Ateneo 大学の学生4人を招待するプロジェクトです。彼らを選んだ研究室で6週間実習をしてもらいます。実習テーマは自由ですが、帰国後、Ateneo 大学で報告をして、NAISTについての宣伝をしてもらいます。(2007/1/15-2007/3/2)		Design Automation Conference (DAC 06)学会の参加 University of California, San Diego の訪問	2006/7/23- 2006/8/2
中村 幸紀	小木曽公尚 助手	NAIST大学院教育カリキュラム 発展プロジェクト	NAISTの教育制度の発展・向上を目的とし、本学の教育に対して学生の立場で提言する。 1. 大学院教育の問題点や、他の教育研究機関の取組を調査 2. 調査結果を踏まえ、FDシンポジウムで提言	(その他の活動): 実験を通じた制御工学の紹介 (オープンキャンパスで小型ヘリ 実験装置のデモを行い、実験を 通じて学外の方に制御工学を 理解して頂く)		
(中村 幸紀 その2)		後輩特待生の活動支援	OBとして他の特待生の相談に対応するなど、後輩の活動をサポートし、プロジェクトの成功に努める。	活動支援を行ったプロジェクト : 支援内容 1. サイエンスオリンピック(山倉 氏) : 運営活動 2. NAIST子育て支援project (前田氏): アドバイザー		
上野 秀剛	大平雅雄 助手					